

# U-mitte「いけプロ@とかち」オンライン説明会レポート

作成者：NPO法人U-mitte 代表理事 本間多香美

開催日：2025年6月4日（水） 19:30～20:30（Zoom開催）

参加者数：19名（医療・福祉関係者、行政職員、保護者、支援者など）

## 1.はじめに

医療的ケアが必要な子どもを育てる親として、私はこれまで孤独や絶望を感じながらも、仲間の支えを受けて乗り越えてきました。その経験を原点に、「こんな場があったらいいな」を形にすべく設立したのが、NPO法人U-mitteです。

本レポートでは、U-mitteの事業内容および、今後の重点プロジェクトである『北海道で暮らす医療的ケア児の未来を拓くプロジェクト』（以下、「いけプロ@とかち」）について、その背景・課題・事業構想・今後の展望を報告いたします。

## 2.説明会開催の目的

「いけプロ@とかち」構想について広く共有し、地域の皆さまと一緒に課題や解決策を考える場として開催しました。特に、医療的ケア児・者の家族が直面する「夜間の預け先不足」の実態を共有し、具体的な整備案と今後の協働の形について参加者とともに理解を深めることを目的としました。

## 3.説明会の内容（概要）

代表理事・本間より「U-mitteの活動内容と設立背景」、続いて「いけプロ@とかち」構想についてプレゼンテーションを行いました。その後、先行事例である「NPO法人ソルウェイズのいけプロ」の紹介、施設整備計画、協働体制について説明しました。

## 4.当日の様子と参加者の声

参加者の構成：保護者（医療的ケア児の家族）、医療・福祉関係者、行政、教育関係者、一般支援者など

参加者の声（抜粋）：

- ・「夜間の受け入れ先が十勝にできることを切望していたので、希望が見えた」
- ・「制度のはざままで支援が届かない現実をもっと多くの人に知ってもらいたい」
- ・「地域と連携した形でのプロジェクトは、持続可能性が高いと感じた」

## 5. 質疑応答・意見交換の内容

- Q. 現在登録していない家庭も利用できるのか？  
→ A. 初期はプエオキッズ・ウィングの登録者を想定しているが、将来的には対象拡大を目指している。
- Q. 財源が確保できない場合のプランBはあるか？  
→ A. 助成金申請の複数ルート確保、民間からの寄付、資金調達イベント等の活用を想定。
- Q. 地域住民への理解や協力はどう進める？  
→ A. 今後、説明会や施設見学会を通じて双方向の対話を重ねる予定。

## 6. 今後の展望と協力の呼びかけ

説明会を通じて「このプロジェクトは地域全体の課題であり、個人ではなく“みんなで担うもの”である」という認識が共有されました。

今後は、以下のような取り組みを予定しています：

- 賛同人の募集（600人目標）
- SNSや広報媒体での情報発信
- 地域説明会や勉強会の開催
- 寄付・資金協力の仕組みづくり
- ボランティア参加の促進
- 年次報告書の発行

## 7. おわりに

このプロジェクトは、医療的ケアが必要でも「自分らしい生活」「家族とともに豊かな人生」を送れる社会の実現を目指すものです。

私たちU-mitteは、この挑戦に覚悟を持って取り組んでいます。ご関心をお寄せいただけましたら、ぜひご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 追記（2025年7月時点）

※本レポートは、2025年6月に開催された「いけプロ@とかち」オンライン説明会の記録です。掲載の時期が遅れてしまったため、レポート内でご案内している「賛同人募集」はすでに終了しております。

なお、ご協力いただいた**1845名**の皆さまに、改めて感謝申し上げます。

今後の進捗や新たな協力の機会については、U-mitteの公式ウェブサイトやSNSにて随時ご案内いたします。